

NCVIEW 2023

NCVIEW Neo 2023

NCVIEW MC3 2023

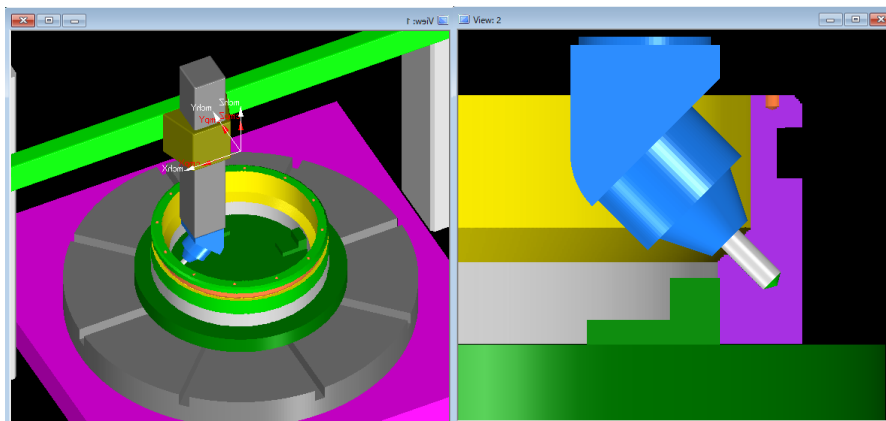
NCVIEW 2023/ NCVIEW Neo 2023/ NCVIEW MC3 2023 リリースノート

- A) 機能拡張・改善内容
- B) 今後の開発予定機能
- C) 主な修正内容
- D) 対応済みサポート受付番号一覧
- E) サポート対応終了製品のお知らせ
- F) 動作環境

A) 機能拡張・改善内容

1. アタッチメント干渉チェックの高速化 (NCVIEW Neo / MC3)

アタッチメントがワークに近接しながら加工する場合にも高速に干渉チェックを行えるように性能がアップしました。

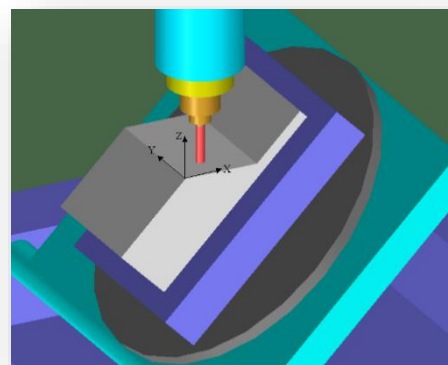


2. 傾斜面加工指令への対応範囲を拡張

ワークの傾斜面に穴加工などを行うとき

傾斜面上の座標系(フィーチャ座標系)で加工位置を指令できると
NC プログラムが作りやすくなります。

フィーチャ座標系設定指令 G68.2 と工具軸方向制御指令 G53.1 による
傾斜面加工への対応範囲を拡張しました。



3. 工作機械メーカー固有の工具寿命管理システムに対応

T 指令、H 指令、D 指令が工具寿命管理システムの番号で指令される場合にも柔軟に対応できるように機能を拡張しました。

4. Windows 11 に対応

すべての NCVIEW モジュールが Windows 11 に対応しました。

5. ネットワークライセンスが Windows Server 2022 に対応

Windows Server 2022 でのネットワークライセンス使用は新しいライセンスキーが必要となる場合があります。詳しくは弊社までお問い合わせください。

B) 今後の開発予定機能

NCVIEW 上でマクロプログラムが解析できる機能「マクロデバグ」の機能拡張を予定しています。新機能や実装バージョンが決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。

C) 主な修正内容

- PDI 入力の不具合を修正しました
- 固定サイクル中の位置決め動作を修正しました
- 位置オフセット中の円弧指令動作を修正しました
- 工具軸方向制御の回転軸動作を修正しました
- モデル比較の動作を修正しました
- OSP のシミュレーション動作を修正しました
- OSP での円弧指令のエラーチェックを修正しました
- 工具補正番号の定義可能数を拡張しました
- タップ加工シミュレーション動作を修正しました
- OSP 複合加工機固定サイクルの動作を修正しました
- 自動補正(長補正)の動作を修正しました
- 付加軸での早送り動作を修正しました
- OSP での穴あけ加工シミュレーションを修正しました
- 工具先端点制御(ベクトル指令)の動作を修正しました
- 旋盤仕上げサイクル動作を修正しました
- 穴あけ詳細動作の不具合を修正しました
- アタッチメント干渉の不具合を修正しました
- バッチシミュレーションの動作を修正しました

D) 対応済みサポート受付番号一覧

202101003 202111003 202212002 202211001 202210001 202210008 202208002 202206006 202206002
202206003 202205001 202202002

E) サポート終了製品のお知らせ

64bitOS の普及に伴い、下記製品の 32bitOS バージョンのサポートを終了しました。

- NCVIEW Neo
- NCVIEW TOOLwatch

現在 32bitOS の上記製品を使用されているお客様につきましては、NCVIEW 2023 より 64bitOS バージョンの使用をお願いいたします。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

F) 動作環境

OS	< NCVIEW TURNwatch / SOLIDwatch / MULTAXwatch > Windows 10 / Windows 10 64bit / Windows11 ※ 64bit OS にインストールした場合でも 32bit で動作します。 < NCVIEW Neo / NCVIEW MC3 / NCVIEW TOOLwatch > Windows 10 64bit / Windows11
メモリ	16GB 以上(64 ビット)、2GB 以上(32 ビット)(推奨)
CPU	Intel Core i7 (推奨)
グラフィック	NVIDIA 社製 (推奨)